

2015 年 4 月 23 日

各単組委員長・担当者 様

日本食品関連産業労働組合総連合会

事務局長 山本 健二

政策局長 栗田 博

「食」を大切にすゝる運動の推進について

各単組の日頃のご活動に感謝申し上げます。

さて、実施計画に基づきフード連合は、「食」を大切にすゝる運動を推進します。取り組み項目は下記のとおりです。各単組、組合員の積極的な取り組みを宜しくお願い致します。

記

◆ 「食」を大切にすゝる運動の推進 取り組み項目

1. フードバンク活動の推進

- (1) フードバンク活動へのスポンサー契約を会社に働きかける。
- (2) 情報提供 ex ボランティア活動 (食品パッケージ作り、炊き出しなど)。

2. 「食べ残しゼロ運動」の推進

- (1) ドギーバッグ・エコバッグの継続販売。

3. 「食」を大切にすゝる運動の推進に向けた取り組みの啓発資材の活用

- (1) “ 「食」の大切さを知り感謝の気持を持つ ” リーフレット

1. 「フードバンク活動」の推進

— 食品の大量廃棄問題への対応 —

フード連合は、食品ロス削減に向けて、加盟組合に対してフードバンク活動の情報提供を行うとともに、セカンドハーベストジャパン (以下 2HJ) とのスポンサー契約や寄付を会社に働きかける取り組みを推進します。

食品提供を行う主体は企業ですが、食品関連産業の労働組合である私たちが企業に働きかけ、「フードバンク活動」を推進していくことは、社会的責任の観点からも非常に重要であると考えます。下記の内容に沿って、取り組みを進めて頂きますよう宜しくお願い致します。

「フードバンク活動」の推進

“フードバンク活動”とは・・・

食品企業の製造工程で発生する規格外品（包装における破損や印字ミス）など、食べ物としての品質には問題ないが、通常の販売には支障がある食品・食材を、食品メーカーや小売店等などから引き取って、福祉施設等へ無償提供するボランティア活動です。1960年代の米国で、まだ食べられる食品がスーパーで大量廃棄されていることを聞いたボランティアが、スーパーからこうした食品の寄附を受け、地元の教会に備蓄する倉庫を貸してもらい、生活困窮者に配給を始めたのが、フードバンク活動の成り立ちで、日本では、2000年頃から、徐々にフードバンク活動が広がっています。

1. フードバンク活動へのスポンサー契約を会社に働きかける

フード連合は、2HJの活動を中心に推進していきます。2HJのホームページ(<http://2hj.org/>)をご覧ください。フードバンク活動の内容を理解し、スポンサー契約をしていただけるよう会社へ働きかけて下さい。なお、地域でのフードバンク活動についても連合を通じて推進していきます。新たにスポンサー契約をした会社は、フード連合にご連絡下さい。フード連合で集約し加盟組合に報告します。

※フードバンクへの寄付の流れは、まず、2HJに連絡をし、

- ①寄付を検討している商品について確認（商品の種類、量、賞味期限など）。
- ②（別添の）同意書を御社と2HJで締結。
- ③食品の引き取り。
- ④2HJのスタッフが、必要としている各施設に再配分する。 という流れになります。

<2HJとスポンサー契約をしている主な企業>

・ニチレイ・ヤマサ・ネスレジャパン・キッコーマン・日本製粉 ・日清製粉
・マルハニチロ ・味の素 ・ヒゲタ醤油 ・サントリー ・ゴールドパック

2. 情報提供

ボランティア活動（食品パッケージ作り、炊き出しなど）等の情報を提供します。

セカンドハーベストジャパンHPより

<時間の寄付（ボランティア）> 詳しくは (<http://2hj.org/support/time/>)

金曜日の炊き出し準備

秋葉原の事務所で、翌日行う炊き出しの下ごしらえをします。スーパーや農家さんからいただいた野菜を切る作業です。

土曜日の炊き出し

毎週上野公園で約400食を提供しています。シフトは準備、配給、片付けに分かれています。

パントリー食品パッケージ

生活に困る家庭へ発送する食品パッケージの梱包作業です。

事務ボランティア

電話対応、データ入力、などの業務です。定期的に参加できる方を募集しています。

3. 問い合わせ先

この取り組みに関するお問い合わせについては、2HJに直接ご連絡下さい。

<http://2hj.org/>

以上

<別紙>

同意書

Second Harvest Japan (以下 2HJ とする) は多量の救援用食料品や家庭用製品を請願し、一方これらは貧国、不幸や幼い人々へ食料を提供する NPO 法人や非営利団体に提供される。食料品や家庭用製品といった貴方の寄贈品は、以下の規定に従って受け入れられます。

1. (転売・再販の禁止について)

2HJ は、貴方の寄贈品を転売しません。金銭、財産、事業サービスと交換しません。

2. (使用範囲について)

貴方の寄贈品はいわゆる 2HJ の非営利目的に関してのみ使用され、関連のない取引または事業収益を上げる 2HJ のいかなる活動にも使用されません。

3. 貴方の寄贈品は貧困、不幸や幼い人々の援助のためだけに 2HJ により使用されます。貴方の寄贈財産の 2HJ からの提供先は非課税慈善団体もしくは法的に同等の地位のものです。

4. (食の品質の保証)

貴方の寄贈品は人による使用に適しており、適用のある関係法令に従っていなければなりません。2HJ は食料製品の消費有効期限に関する法律や規則を含む寄贈品の取扱に関する適応され得る全ての法律や規則に従う責任を有します。2HJ は、寄贈品の提供先である非課税慈善団体等に対してもこれらの全ての法律や規則を遵守させる責任を負うものとします。

5. 2HJ は貴方の寄贈品に関する適切な記録を保持します。また、貴方からの希望に応じ、貴方の寄贈品について報告します。

6. (事故発生時の対応)

事故がおこった場合、全ての関係者によって行われる調査の結果に基づいて、適用のある関係法令に準じ、別途協議する。

7. 寄贈者による特定の追加指針、条件、制約:

合意日 年 月 日

(2HJ)

Second Harvest Japan

理事長 マクジルトン・チャールズ・アール

111-0053 東京都台東区浅草橋4丁目5番1号水田ビル1F

Tel/Fax:03-3838-3827 E-mail:info@2hj.org Web:www.2hj.org

(寄贈者)

事業者名

署名者氏名

署名

2. 「食べ残しゼロ運動」の推進

「ドギーバッグ・エコバッグ」ご購入のお願いについて

フード連合は、「食」を大切にする運動を組織内外に展開していくために、「食べ残しゼロ運動」を下記の内容で推進していきます。具体的には、ドギーバッグとエコバッグを斡旋して、家庭内等で実践することにより、一人ひとりが「食の大切さ」や「食と環境問題」などへの意識を醸成し、活動への理解を浸透させ、「食」の大切さを伝えていきます。

なお、斡旋した価格の10%程度をセカンドハーベストジャパンに寄付します。各単組、組合員の積極的な取り組みを宜しくお願い致します。

「食べ残しゼロ運動」の推進

“食べ残しゼロ”とは・・・

貴重な食べ物は一生懸命つくってくれた人に感謝して、食べ残しをしないことが基本です。万が一、食べ残してしまった食べ物は持ち帰ります。食品の廃棄をなくすことで地球にやさしい環境にする取り組みです。

ドギーバッグ（持ち帰り袋）とフード連合エコバッグの斡旋と推進

食を大切にする運動の一つとして、また地球にやさしい環境への取り組みとして、ドギーバッグ（持ち帰り袋）とエコバッグの活用を各単組、家庭内で実践していきます。

1. 種類と斡旋価格

ドギーバッグ	1個（冷凍保存用5枚入り）	200円
フード連合エコバッグ	1個	350円
ドギーバッグ&エコバッグ	1セット	550円

（取り組みの主旨を考慮して頂き、できる限りセットでのご購入をお願いします。）

商品のご購入の一部(10%目安)をセカンドハーベストジャパンに寄付をします。

◆ドギーバッグ・・・・・・・・・・かさばらず、水気のあるものも持ち帰りやすいジッパー付ビニール袋

◆フード連合エコバッグ・・・・・・・・ドギーバックはもちろん、A4サイズ書類や様々なものを入れられる、ビニール素材のエコバック

2. お申し込み方法

- ・ 組合単位で個数を集約して、別添の「ご注文申込書」に必要事項をご記入のうえFAXかメールでお申し込み下さい。
- ・ 価格はすべて税込、送料込です。
- ・ お支払いは商品到着後、下記にお振込をお願いします。

《お振込先》 中央労働金庫 田町支店 (普) 8 7 4 3 4 1 7 フード連合一般会計

会長 まつたに 松谷 かずしげ 和重

3. 取り組み時期

この取り組みは年間を通じて、活動を広げていきますので、随時申し込みを受け付けております。各単組の役員、組合員と家族の皆様に、この取り組みを浸透させていただきますようお願い致します。

4. 啓発方法

食べ残しゼロカード

フード連合のHPからダウンロードできますので、ご活用下さい。

以上

ご注文申込書

ご注文を希望する方は、以下に必要事項をご記入の上、フード連合 政策局まで Fax かメール送信して下さい。その他・ご不明な点は、Tel:03-6435-2884（フード連合 政策局）までお気軽にお問い合わせください。

記入者名 _____

単組名			
フリガナ			
氏名			
お届け先			
〒	-		
お届け先電話番号：	-	-	-
Fax 番号：	-	-	-
備考			

コード	商品名	単価	数量	合計金額
001	セット（ドギーバッグ&フード連合エコバッグ）	550 円		
002	ドギーバッグ（冷凍保存用 5 枚入り）のみ	200 円		
003	フード連合エコバッグのみ	350 円		

取り組みの主旨を考慮していただき、できる限りセットでのご購入をお願いします。
 ※商品のご購入の一部(10%目安)をセカンドハーベストジャパンに寄付をします。

配送について ■ 商品のお届け日数

ご注文状況及び配送状況、時期、荒天等により多少遅くなることもございます。

フード連合 政策局 行き

Fax : 03-6435-2888

E-mail : seisaku01@jfu.or.jp

3. 「食」を大切にすゝ運動の推進に向けた取り組みの啓発資材の活用

“ 「食」の大切さを知り感謝の気持を持とう ” リーフレット

フード連合は「食」を大切にすゝ運動の推進に向けた取り組みの加盟組合における職場内の意識啓発に向けてリーフレット（別添）を作成しました。

「食」を大切にすゝ運動の推進には、食品関連産業で働く私たちがまず「食」を大切にし、安全な「食」を提供することで、私たちの周りの人をはじめ、多くの人にその大切さを伝えることが必要です。

リーフレットはデータ化して単組で活用できるようにフード連合HPに掲載してあります。また、リーフレットにはQRコードを付けていますので、各職場での掲示又は広報紙への掲載等、意識啓発・情宣に向けてご活用下さい。

フード連合「食」を大切にす運動の推進に向けた取り組み

私たち自身が

「食」の大切さを知り 感謝の気持ちを持とう



世界と日本の「食」の差

「食」は自然の恩恵で、飢える人もいる なのに、捨てる人がいます

私たちの「食」は自然の恩恵の上になりたっています。そのため、異常気象や大規模災害といった自然環境の大きな変化が起こると、食品の安定供給ができず、食生活に大きな影響がでてしまいます。

また、世界では7人に1人が飢えに苦しみ、5秒に1人が飢えのため命を落としています。

一方、日本では、まだ食べられるのに捨てられている食べ物の量は年間500万～900万トンもあり、食品が簡単に捨てられてしまう現状があります。



日本人1人ひとりがおにぎり2個分ずつの食べ物を毎日捨てていることになる

「食」を大切にす理由

私たちが「食」をつくり 「食」が私たちをつくっている

食べ物は様々な命からつくり、その命をいただく「食事」によって私たちの体はつくりられています。そして「食」はそれに関わる様々な人の活動に支えられています。「食」を、いつでも、安全に手に入れられることは素晴らしいことです。



食品関連産業で働く私たちは、この「食」の大切さを知り、安全に届ける大変さも知っています。だから、私たち自身が、「食」はあって当たり前のものであるのではなく、「いただきます」「ありがとう」といった感謝の気持ちをもっと持つことが必要です。

私たちには何ができるだろう？

世界に足りていないのは食べ物ではなく、一人ひとりの行動

まずは自分たちから

食品関連産業で働く私たちがまず「食」を大切にし、安全な「食」を提供することで、私たちの周りの人をはじめ、多くの人にその大切さを伝えることができます。

よく考えて買おう

自分の食べる量を知り、食べられる量を超えた過剰な購入をやめることで、無駄に捨てられる食品を減らすことができます。



購入する食べ物を選ぶ際も、輸入品や遠隔地のものではなく、なるべく「地元で生産されたもの」を選ぶことで、食品輸送の負担を減少させることができます。

使い切ろう

まだ食べられる部分や残った食材が捨てられることもあります。別の料理に活用するなど、過剰に捨てないようにしましょう。また、賞味期限と消費期限は違います。賞味期限が切れても、すぐに食べられなくなるわけではないので、すぐに捨てるのはやめましょう。



残さないようにしましょう

食卓に並んだものを残さないようにするだけで、家庭で無駄になる食べ物の多くはなくなります。

また外食時は、食べる分以上は注文しない、食べきれない場合はドギーバッグ等で持ち帰れるものは持ち帰るなど、無駄をなくしましょう。



フード連合の活動 — 政策局

<http://www.jfu.or.jp/action/seisaku.htm>



〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 専売会館4階
TEL 03-6435-2932 FAX 03-6435-2888
E-mailアドレス jfu210@jfu.or.jp
ホームページアドレス <http://www.jfu.or.jp/>